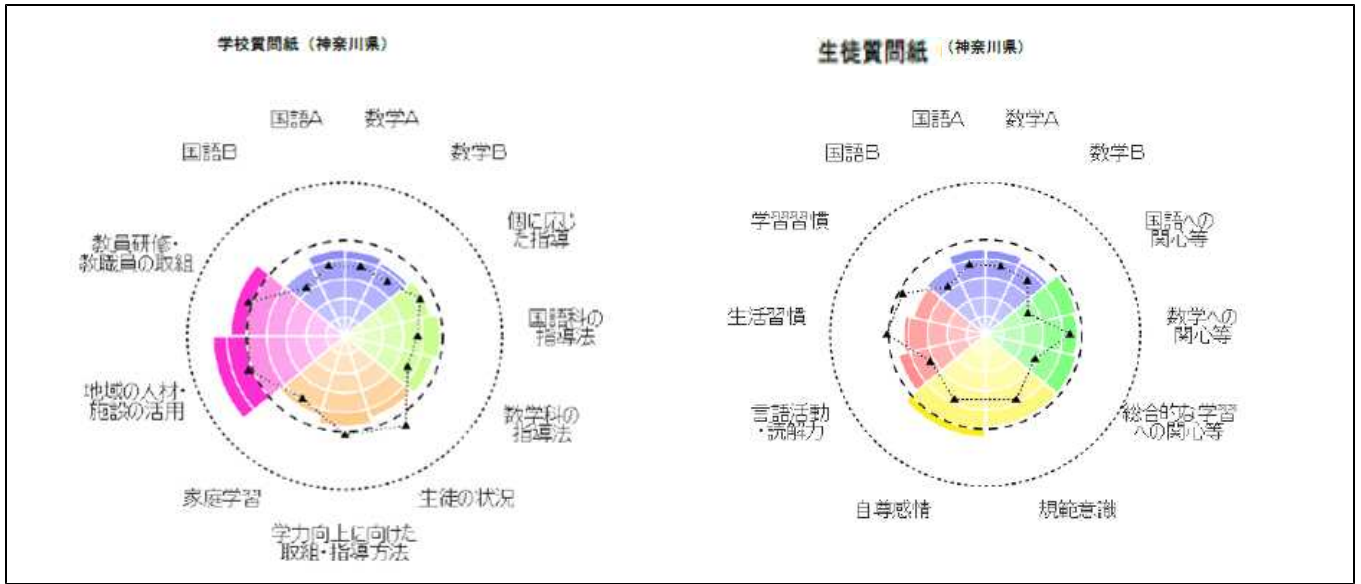


平成29年度 大正中学校 全国学力・学習状況調査
 《 本校の結果・分析と本校の取組 》

1 全国学力・学習状況調査チャート (▲は昨年度の本校の結果)



2 国語、数学の学力結果 (平均正答率の県・全国の比較)

	国語A (知識)	国語B (活用)	数学A (知識)	数学B (活用)
本校	73.0	67.0	55.0	42.0
神奈川県	77.0	72.0	64.0	48.0
全国	77.4	72.7	64.6	48.1
県との差29年度	-4.0	-5.0	-9.0	-6.0
県との差28年度	-7.1	-14.3	-11.2	-12.0
県との差27年度	-9.7	-9.4	-11.4	-8.7

3 本校の学力 (国語、数学) の傾向と考察

国語	分析	国語の学習に対する取組では、授業に対する意欲・意識が高く、目的を持って授業に臨んでいる生徒が全国平均を大きく上回っている。また、国語の授業が社会生活に結びついており重要なものであるという意識も高く、意欲的に授業に取り組んでいることがわかる。「読む」に関する設問では、理解が深められていない傾向が見られる。
	課題	<ul style="list-style-type: none"> 漢字小テストの継続により、基礎・基本のさらなる定着を図る 「書く」習慣を身につけさせられるようさらなる工夫をし、書く力の伸長を図ること 授業で丁寧に文章を読み進めていく作業を行うと同時に文書に触れる機会を多く工夫すること
数学	分析	数学の勉強は好きで大切だと思っている生徒の割合は全国平均を上回っており、数学ができるようになりたいと思っている。しかし、家庭で学習する時間は全国平均を下回っている。領域ごとの正答率を見てみると、「数と式」、「図形」、「関数」すべての分野で全国平均を下回っている。
	課題	生徒が基本的な生活習慣を身につけ、授業内容を家庭で繰り返し復習することが大切である。そのためには職員は、生活面でのきめ細かな指導、わかりやすい授業を常に展開していくことが大切である。
学習全体の取組	<p>◎教員研修や教職員の取組では、小中一貫教育推進ブロックでの連携した研究授業・協議、また、校内の道徳の授業研究・講師による研修、教科内でユニバーサルデザイン化の工夫などを行い、職員の授業改善の意識が高まると共に、成果も出た。県や全国の平均には及ばないもの、経年変化で学力が向上している。</p> <p>◎生徒の学習意識で分かるように、授業態度形成を目指した授業のスタンダード、特別支援教育(ステージ1:授業のユニバーサルデザイン化、ステージ2:T T指導による学習支援、ステージ3:学習支援教室)を推進する中で、勉強を諦める生徒が激減し、学習意識が高まった。</p> <p>◎主体的・対話的・深い学びを目指したアクティブ・ラーニング実践でも、No60の問題解決学習の項目で前年比16.7ポイントアップとなったように、4人組のグループ学習や図書館を利用した調べ学習、タブレットを利用した学習など、新たな取組を多くの職員が行い、全体の意識の高揚が伺われる。</p>	

4 本校の重点項目の成果と課題（生徒の意識調査からの分析）

（1）生徒の意識調査の結果（1部抜粋） Noは質問項目番号 **太赤字**：県・全国、前年を上回っているもの

◎確かな学力

項目	本校	県	全国	前年比
15 普段（月～金）、1日どれくらい勉強しますか 30分以下	22.5	14.5	13.2	+5.7
18 普段（月～金）1日どれくらいの時間読書しますか しない	51.3	40.3	35.6	-8.4
19 昼休みなどに図書室、休日に図書館に行く 習1回以上	10.9	7.0	8.1	+5.1
32 家で学校の宿題をしますか はい	41.7	57.0	67.7	-16.7
65 ノートに学習の目標をまとめて書きましたか はい、概ね	77.6	72.4	80.3	-8.8
60 授業で課題解決の情報収集、話し合い、発表の学習 はい、概ね	68.0	69.9	71.3	+16.7

◎豊かな心

項目	本校	県	全国	前年比
6 自分によいところがありますか はい	31.1	27.5	28.2	+11.6
10 将来の夢を持っていますか はい	52.6	43.3	45.3	+11.7
35 学校に行くのが楽しい はい	48.1	46.0	47.3	+4.6
53 人が困っているとき、進んで助ける はい	41.7	32.4	35.6	+17.7
54 いじめはどんなことがあってもいけない はい	63.5	65.9	73.3	+8.3
55 人の役に立つ人間になりたい はい	70.5	61.5	66.1	+17.3
65 道徳で自分お考えを深めたり、グループで話し合った はい、概ね	67.3	68.2	76.0	+9.5

◎健やかな身体

項目	本校	県	全国	前年比
3 毎日同じ時間に起きていますか はい	44.9	49.0	56.3	-5.7
14 1日にどれくらい携帯電話やスマホをしますか 3時間以上	33.3	23.9	18.1	+2.8
21 1日どれくらい部活動をしていますか 2時間以上	78.2	65.6	55.6	

◎生徒理解・支援

項目	本校	県	全国	前年比
51 学校の規則を守っていますか はい	39.1	57.6	63.0	-7.7
40 先生はあなたのよいところを認めてくれますか はい、概ね	78.9	77.9	80.4	+6.2

◎特別支援教育

項目	本校	県	全国	前年比
41 先生は、授業等で分からないことを教えてくれる はい 概ね	75.6	72.6	75.5	+6.8
63 めあて、ねらいが示されたと思いますか はい、概ね	80.2	81.8	87.8	-2.3

◎特別活動

項目	本校	県	全国	前年比
4 物事を最後までやり遂げて、うれしかった はい	79.5	72.4	73.3	+10.7
7 人前で自分の意見を発表することが得意 はい、概ね	53.2	51.7	50.5	+3.9
9 友達のを考えを受け止めて、自分の考えを持つ はい	47.4	41.8	43.0	
36 学校で友達に会うのは楽しい はい	78.8	73.6	75.6	+6.1
37 学級の話合いで、他人の意見を尊重しまとめる はい、概ね	41.1	37.9	40.5	-7.6
39 学級で協力して何かをやり遂げられ、うれしかった はい	65.4	58.6	61.0	+11.5

◎地域連携

項目	本校	県	全国	前年比
42 今住んでいる地域の行事に参加しますか はい、概ね	34.7	35.1	42.1	+3.5
44 地域や社会をよくするために何をすべきか考える はい、概ね	36.5	31.1	33.4	
45 地域社会でボランティア活動に参加したことがある はい	68.6	46.5	49.7	+14.7

（2）成果と課題

◎学力面では、塾に頼っている傾向が強い。塾を含めた学習時間は、1日2時間以上が44.3%（県と同ポイント）と多いが、家庭学習で予習、復習に費やす時間が少ないことや、No15、32などで分かるように、家庭での学習に課題を有する。

そのような特徴を持ちながら、前記の取組で、学習意欲が高まり、経年比で学力の向上の成果が出ている。

学校図書司書の配置もあり、読書活動については、家庭での読書週間に課題はあるが、学校での図書室利用が増加すると共に、図書室を利用した調べ学習も行われるようになった。

◎本校の重点で、『特別支援教育の視点での生徒理解を基に、授業改善、学習支援・生活支援を行う。』があり、学習面では、前記の授業改善や特別支援教育を実践している。生徒理解・生活支援では、生徒の特性を早期につかみ、その生徒の特性に合った支援や指導を行っている。職員が一人ひとりの生徒を大切にする姿勢が生徒にも影響し、豊かな心の項目では、全ての項目の前年比でポイントが増加し、7項目中5項目で県や全国の数値を上回り、大きな成果をあげている。特に、いじめ防止では『いじめ防止対策委基本方針』に基づき、開発的防止の活動や、生徒会本部を中心とした『グリーンリボン活動』の自治活動の成果も出ている。

◎社会性のスキルアップ演習・行事の活性化や自己有用感、自己存在感を得る体験活動を系統化の中で、生徒達の自尊感情が高まり、仲間と協力する姿勢が育まれた。

◎『大中学生の心を育てる活動』を通じて、地域との交流が深まり、ボランティアなどで生徒が活躍する場面が多く作り出せ、地域に貢献しようとする生徒が育成された。さらに推進していきたい。